（第６号様式）

平成２８年度第２回茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進委員会会議録

|  |  |
| --- | --- |
| 　議題 | （議題）１　総合事業パブリックコメントの実施について（意見聴取）２　地域密着型サービス事業者公募結果報告及び事前協議について（意見聴取）３　指定地域密着型サービス事業所の指定更新について（意見聴取）４　平成２７年度地域包括支援センター評価について（意見聴取）５　その他 |
|  日時 | 平成２８年７月２７日（水）１４時～１６時 |
|  場所 | 茅ヶ崎市役所本庁舎４階　会議室２ |
| 出席者氏名欠席者氏名 | 加納　洋子　　木村　辰郎　　三上　秀明　　西　耕一寺田　洋　　　篠原　徳守　　沓澤　幸子鈴鹿　隆司大崎　逸朗　　柏崎　周一　　中戸川　正　　福岡　祐子米山　康之　　水島　修一　　山田　典子事務局：保健福祉部長　高齢福祉介護課長介護保険担当課長　高齢福祉介護課職員なし |
|  会議の公開・非公開 | 公開 |
|  傍聴者数 | ０人 |

**（会議の概要）**

**議題１　総合事業パブリックコメントの実施について（意見聴取）（資料１）**

**説明【高齢福祉介護課：伊勢田課長補佐】**

**委員長**　説明は以上になるが、質問、意見はあるか。

**米山委員**事業所への周知はどのように実施するか。

**事務局**市内の介護予防訪問介護、介護予防通所介護の指定事業者を対象として、８

月４日に説明会を実施予定である。

**柏崎委員**資料１の１ページにある「第１号訪問事業」とあるが、第１号とはどうい

った意味か。

**事務局**介護保険法に規定された文言である。総合事業の訪問事業について、こうい

った文言を使っている。

**柏崎委員**資料１の１７ページの右下欄については、入浴・排泄サービスはなくなるのか。

**事務局**当該下欄は、訪問型サービスＡについての記載であり、入浴・排泄などの身体介護を行わず、日常生活援助のみを行うサービスとなる。入浴・排泄等の身体介護については、国基準訪問型サービスの中で現行と同様に提供される。

**木村委員**他の課でもパブリックコメントを実施しているが、パブリックコメントはアンケート調査の意味合いも含むのか。

**事務局**パブリックコメントとアンケート調査は別の枠組みとなり、素案の作成にあたって、事業所を対象としたアンケート調査を実施している。

**委員長**　それでは、次の議題に進みたい。

**議題２　地域密着型サービス事業者公募結果報告及び事前協議について（意見聴取）**

**（資料２－１、２－２）**

**説明【高齢福祉介護課：田渕主幹、伊勢田課長補佐】**

**沓澤委員**資料２－２にある、事前協議提出書類として近隣への説明状況とあるが、どういった内容となるか。

**事務局**次回の推進委員会の中で、提出書類について改めてご説明させていただくので、その際にご意見を頂戴したい。

**議題３　指定地域密着型サービス事業所の指定更新について（意見聴取）（資料３）**

　　　　**説明【高齢福祉介護課：田渕主幹】**

**委員長**　説明は以上になるが、質問、意見はあるか。

（意見なし）

**委員長**それでは、次の議題に移るが、その前に委員の皆様に確認させていただく。議題４「平成２７年度地域包括支援センター評価について（意見聴取）」は、地域包括支援センターの事業評価についてご審議いただくものである。地域包括支援センターの代表として参画いただいている福岡委員が、評価の対象事業者の管理責任者であることから、公平性の観点において、評価へのご意見はいただかない方がよいと考え、あらかじめ事務局に、福岡委員以外のご意見をとりまとめ資料として作成していただいている。

この委員会の運営に関する必要な事項につきまして、本委員会規則の６条により、委員長が委員会に諮って定めることとなっているため、まずは本議題を皆様にお諮りして議事を進めたいと思うが、よろしいか。

**委員**　異議なし。

**委員長**　それでは説明をお願いしたい。

**議題４　平成２７年度地域包括支援センター評価について（意見聴取）（資料４－１、**

**４－２、４－３）**

**説明【高齢福祉介護課：吉武課長補佐**】

**柏崎委員**地域包括支援センター「あい」と「れんげ」について、自己評価が「３」とあるが、基幹型の評価と比べて低いが、どういったことが理由なのか、また、基幹型包括支援センターではどのような理由で評価を「４」としているのか。

**事務局**基幹型としては一定の基準を満たしていれば評価を「４」としている。地域包括支援センター側の自己評価で「３」としているのは、まだまだ改善の余地があるという前向きな意識からの評価であると考えている。

**福岡委員**「あい」については、評価が初めてであり、絶対に基準を満たしているという場合は「４」、もう少し改善の余地があるという場合は「３」としている。

**委員長**「３」は標準という考え方で良いと考える。

**米山委員**「ゆず」の適正な職員配置をするための取り組みについて基幹型の評価が「３」だが、社会福祉士を１名増員しており、基準を満たしているため評価は「４」ではないのか。

**委員長**評価は数字が良いのか、曖昧な表現としたほうが良いのか、ご意見いただきたい。また、「すみれ」については地域ケア会議を年５回実施していることを評価しているが、この５回という回数は多い回数なのか。

**事務局**他の地域包括支援センターに比べ５回の地域ケア会議は多い。充実した内容となっている。

**柏崎委員**「青空」について、日々の業務の中で引継ぎが不十分とあるが、具体的にはどのようなものか。

**事務局**異動による引継ぎについては１か月半の時間を設け実施している。日常業務について、情報共有をしているが、共有方法が不十分であったということである。

**柏崎委員**共有方法が不十分ということは、評価は「２」ではないのか。

**事務局**日常業務に支障をきたしていたわけではないので、基幹型の評価は「３」としている。

**木村委員**「わかば」の苦情対応体制の評価について、基幹型の評価を「３」としているが、どのレベルの見直しを考えているか。

**事務局**基幹型としては、改善できるところは改善してほしいという意味で評価しており、広い視野で苦情を捉えてほしいという意味で評価している。

**柏崎委員**「さざなみ」ではフレックスタイムを設けているとのことだが、他の地域包括支援センターではフレックスタイムを設けているところはあるのか。また、どのくらいの時間なのか。

**事務局**「さざなみ」のみで実施している。時間は３０分程度である。

**委員長**様々意見をいただいたが、資料４－３のとおり、施設毎の評価を運営協議会の意見として取りまとめるという形でよいか。今後も委員の皆様の意見をいただきながら進めていきたいと考えている。

**委員**異議なし。

**委員長**　それでは、次の議題に進みたい。

**議題５**　**その他**

**説明【高齢福祉介護課：吉川課長補佐】**

**委員長**その他について、事務局より説明をお願いしたい。

**事務局**事務局からは２点ある。１点目は次回委員会の日程についてだが、１０月中旬頃を予定している。決定次第通知する。２点目は、避難支援に係る仕組みが大きく変わることについてである。災害対策基本法が一部改正され、特に支援が必要な人の名簿として避難行動要支援者名簿の作成が全ての市町村に義務付けられた。現在、仕組みが変わることについて説明に回っているが、今後推進員会にもお諮りしていく。事務局からは以上である。

**委員長**名簿の提供とあるが、どこに提供されるのか。

**事務局**地域防災経営計画に位置付けている、避難支援等関係者に提供する。具体的には、消防機関、警察、自治会・自主防災組織、民生委員・児童委員、地域包括支援センターの６つの関係者となる。

**委員長**他に質問等なければこれにて終了する。

委員長署名　　　大崎　逸朗

委員署名　　　　寺田　洋